



令和6年度第1回 子ども・若者施策審議会 貧困対策検討部会

～令和5年度 神奈川県子どもの生活状況調査について～

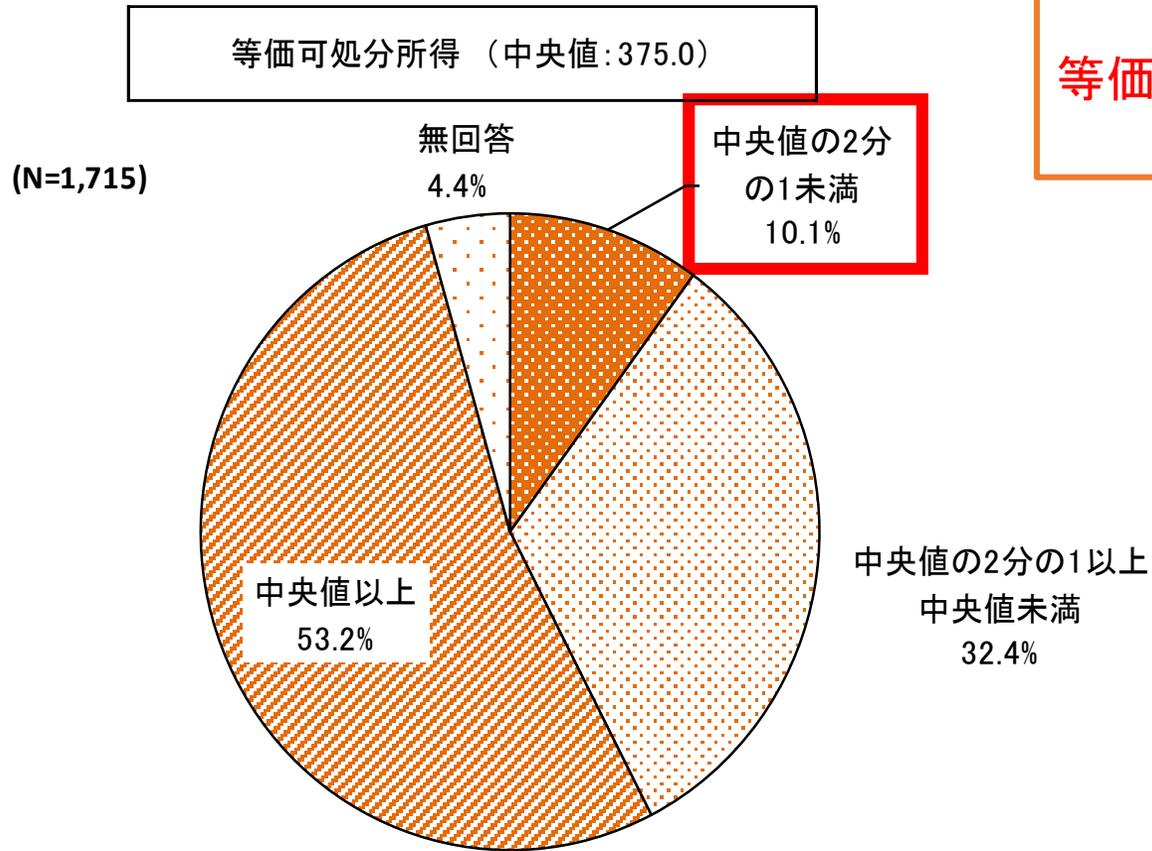
令和6年7月12日
福祉子どもみらい局
次世代育成課企画グループ

令和5年度 子どもの生活状況調査 調査概要

| 項目 | 内容 | | | |
|-------|---|---|-------|-------|
| 調査の目的 | 県内の子どもの貧困の実態と課題について新たに把握するとともに、神奈川県子どもの貧困対策推進計画の改定と施策の検討のための基礎資料とする | | | |
| 調査対象 | 中学2年生とその保護者4,320組 ※県内全域を対象に、層化無作為抽出法により、住民基本台帳から抽出 | | | |
| | | 配布数 | 回収数 | 回収率 |
| | 中学生 | 4,320 | 1,585 | 36.7% |
| | 保護者 | 4,320 | 1,715 | 39.7% |
| 調査期間 | 令和5年8月21日～9月8日 | | | |
| 調査事項 | 中学生 | 学習及びクラブ活動等の状況、進学希望、生活の状況、支援の利用状況等 | | |
| | 保護者 | 家族の状況、子どもとの関わり方、子どもの進学、生活の状況、世帯の経済状況、支援の利用状況等 | | |
| 調査方法 | 調査票を対象者に郵送、郵送もしくはオンラインで回答 | | | |

令和5年度 子どもの生活状況調査 結果概要①

【本調査による子どもの貧困率】



子どもの貧困率: 子ども全体に占める、等価可処分所得が中央値の2分の1に満たない子どもの割合。
等価可処分所得: 世帯の可処分所得を世帯人数の平方根で割って調整した所得。

○ 本調査による子どもの貧困率は **10.1%**
※国民生活基礎調査における「子どもの貧困率(全国)」と単純比較はできません。

○ ひとり親に限定すると貧困率は **48.3%**

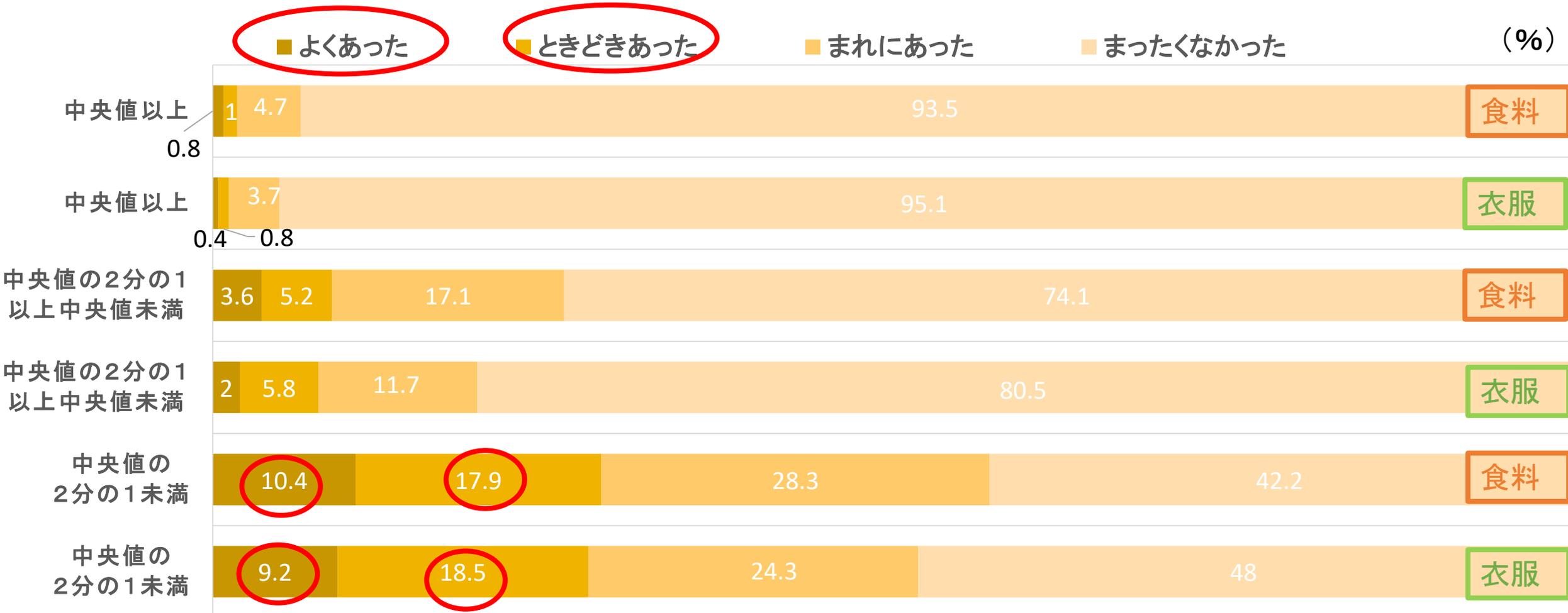
(参考) 本調査での1人当たりの可処分所得は、
中央値: 375万円/年

中央値の2分の1: 187.5万円/年

2人世帯では約22万円/月(所得)
4人世帯では約32万円/月(所得)

令和5年度 子どもの生活状況調査 結果概要②

【欠乏経験】 Q お金が足りなくて家族が必要とする食料や衣服が買えなかった経験



→食料、衣服ともに所得が低い世帯ほど買えなかった経験が多い。

令和5年度 子どもの生活状況調査 結果概要③

【食事頻度】 Q (中学生へ質問)週にどれくらい、三食の食事をしていますか



→所得が低い世帯ほど三食を毎日食べない子どもが多い。

令和5年度 子どもの生活状況調査 結果概要④

【学習習慣】 Q 学校の授業以外でどのように勉強をしていますか



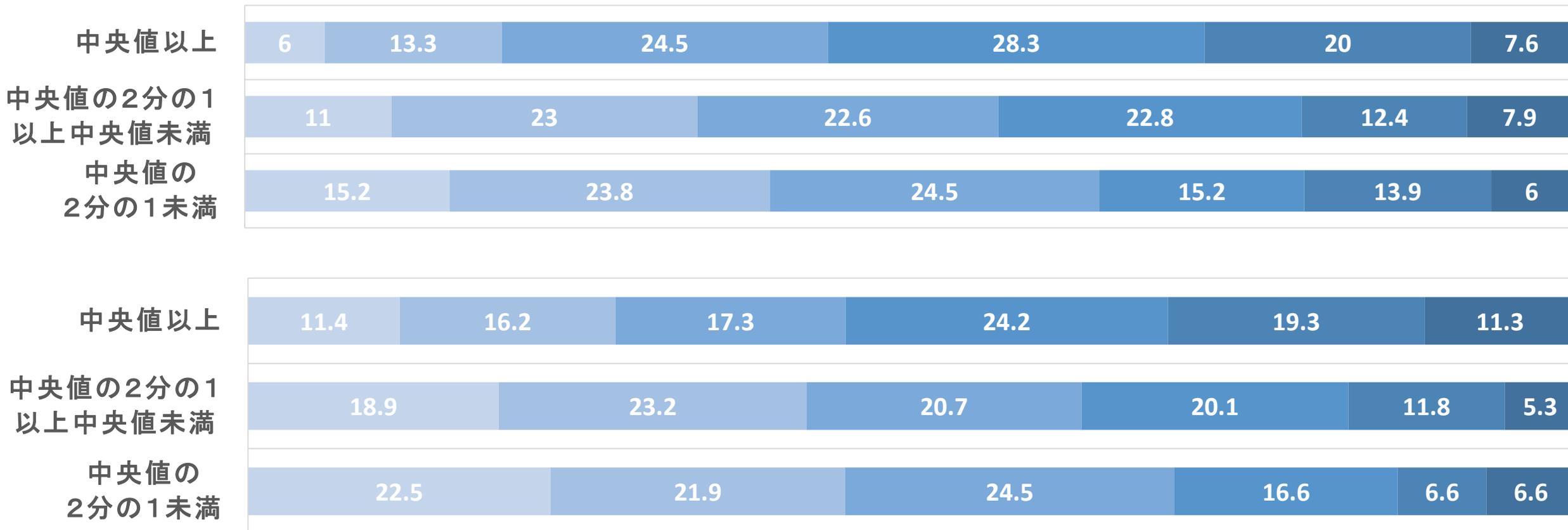
→所得が高いほど塾を利用する割合が高い。
地域の無料勉強会は所得が低い世帯の利用割合が高い。

令和5年度 子どもの生活状況調査 結果概要⑤

【学習習慣】 Q 学校の授業以外に、1日あたりどれくらい勉強をしますか

上段:学校のある日
下段:学校のない日

■ まったくしない ■ 30分未満 ■ 30分以上1時間未満 ■ 1時間以上2時間未満 ■ 2時間以上3時間未満 ■ 3時間以上 (%)

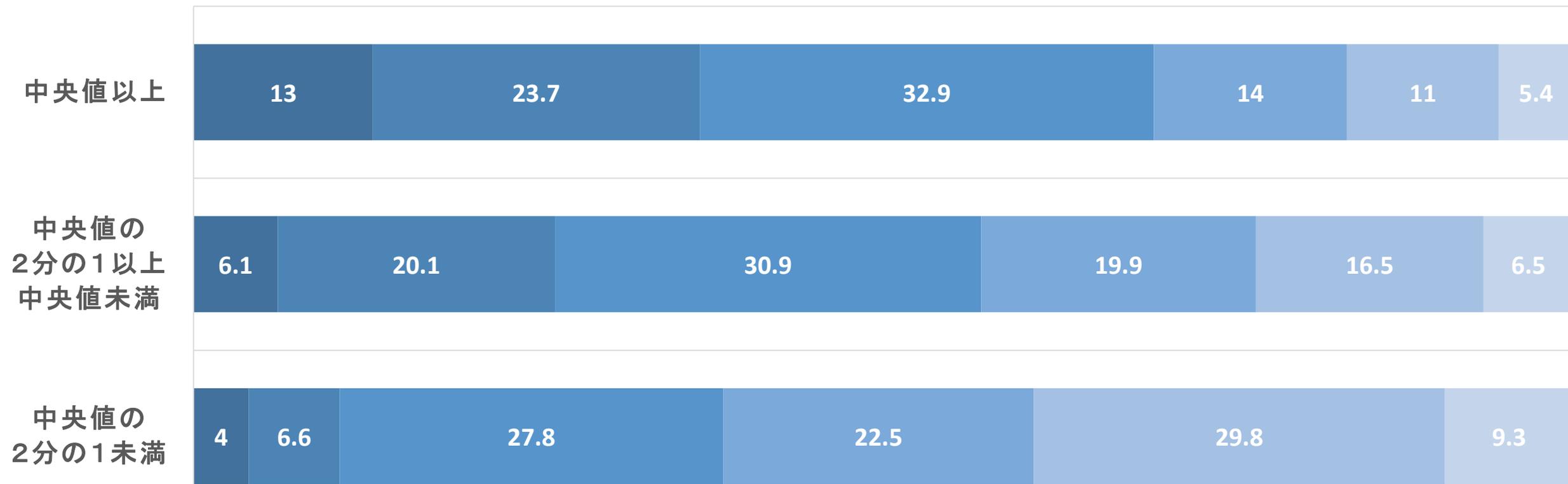


→所得が低いほど1日あたりの勉強時間が短い。

令和5年度 子どもの生活状況調査 結果概要⑥

【学習習慣】 Q あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか

■上のほう ■やや上のほう ■まん中あたり ■やや下のほう ■下のほう ■わからない (%)

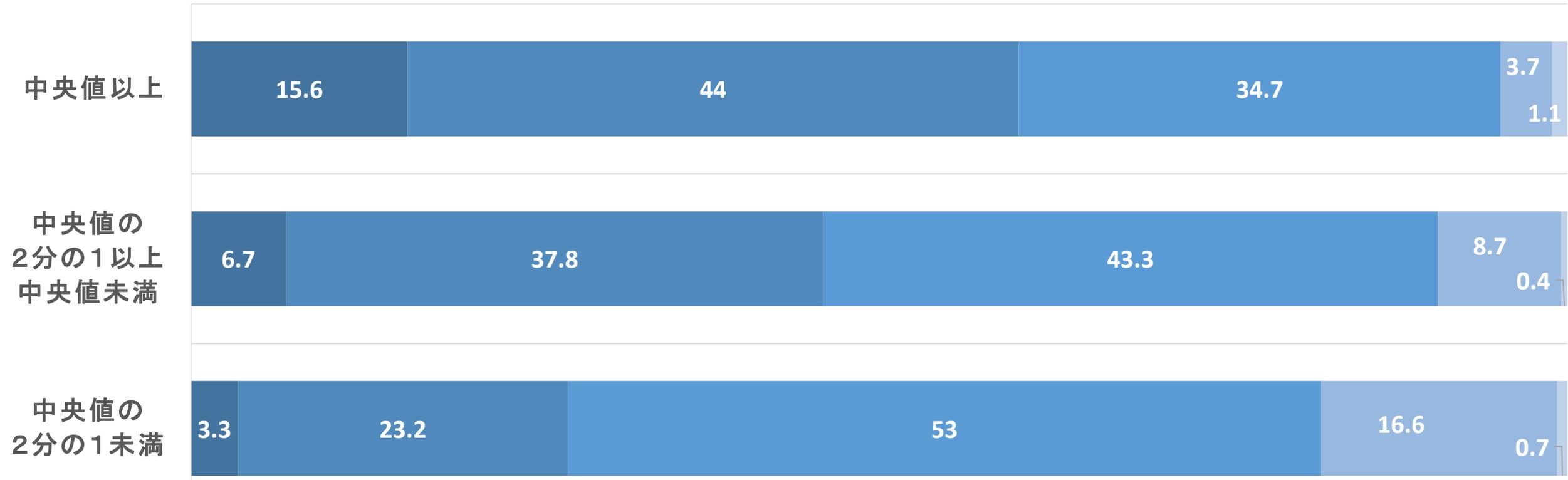


→所得が低いほど自分の成績が低いと考える中学生が多い。

令和5年度 子どもの生活状況調査 結果概要⑦

【学習習慣】 Q 学校の授業がわからないことがありますか

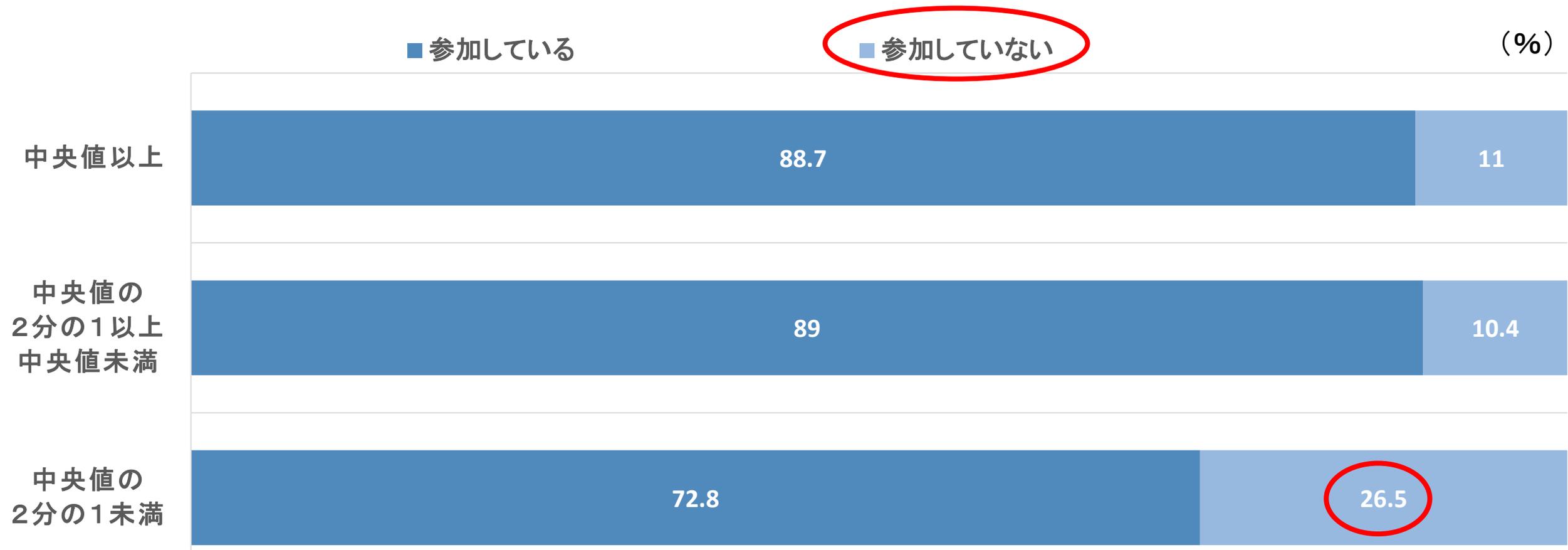
■ いつもわかる ■ だいたい ■ 教科によってはわからない ■ わからないことが多い ■ ほとんど分からない (%)



→所得が低いほど授業がわからないと感じる割合が高い。

令和5年度 子どもの生活状況調査 結果概要⑧

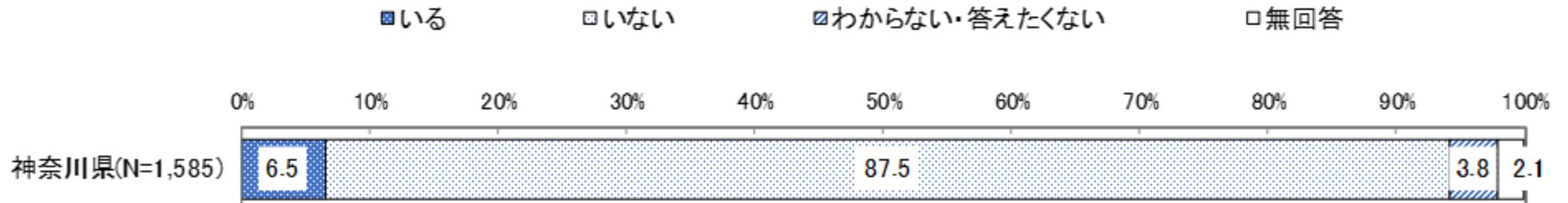
【学校生活】 Q 地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか



→所得が低いほど参加していない割合が高い。

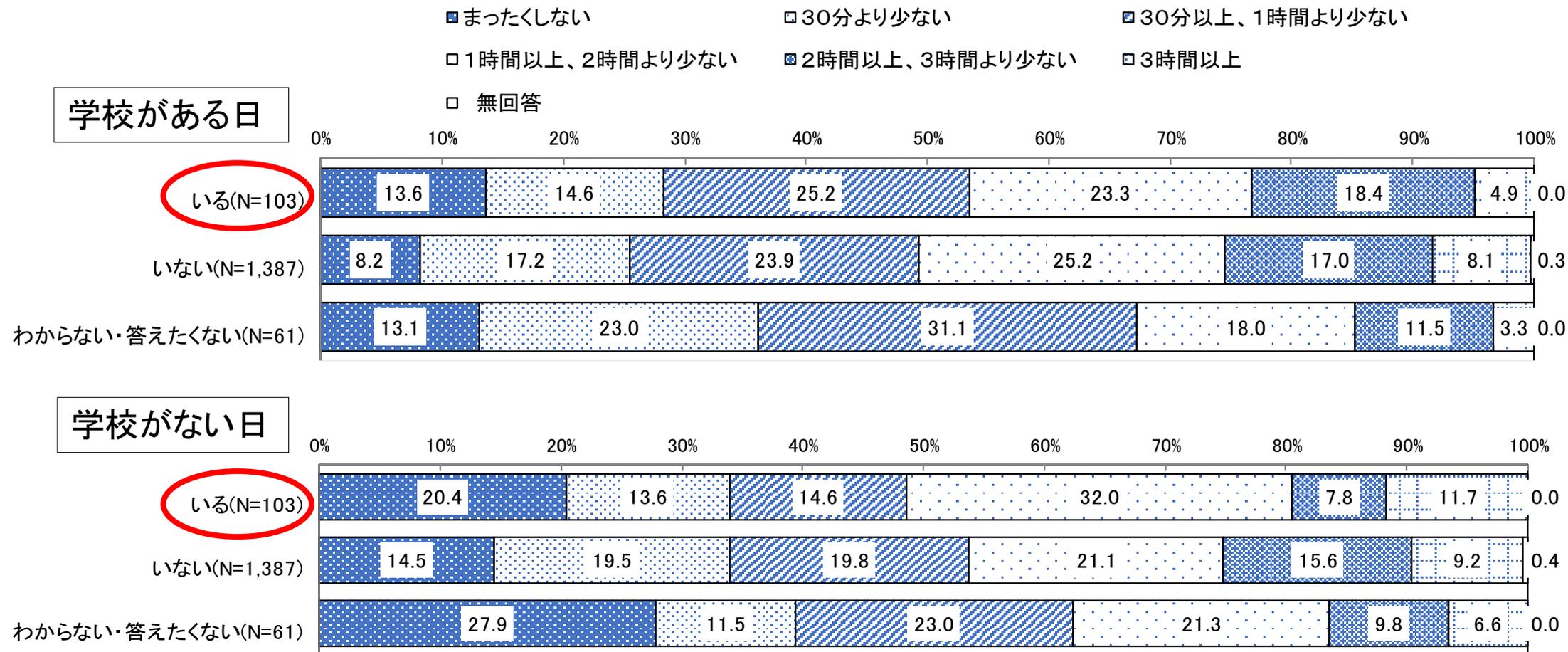
令和5年度 子どもの生活状況調査 結果概要⑨

【ヤングケアラー】 Q 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか



令和5年度 子どもの生活状況調査 結果概要⑩

【ヤングケアラー】 Q 1日あたりの勉強時間

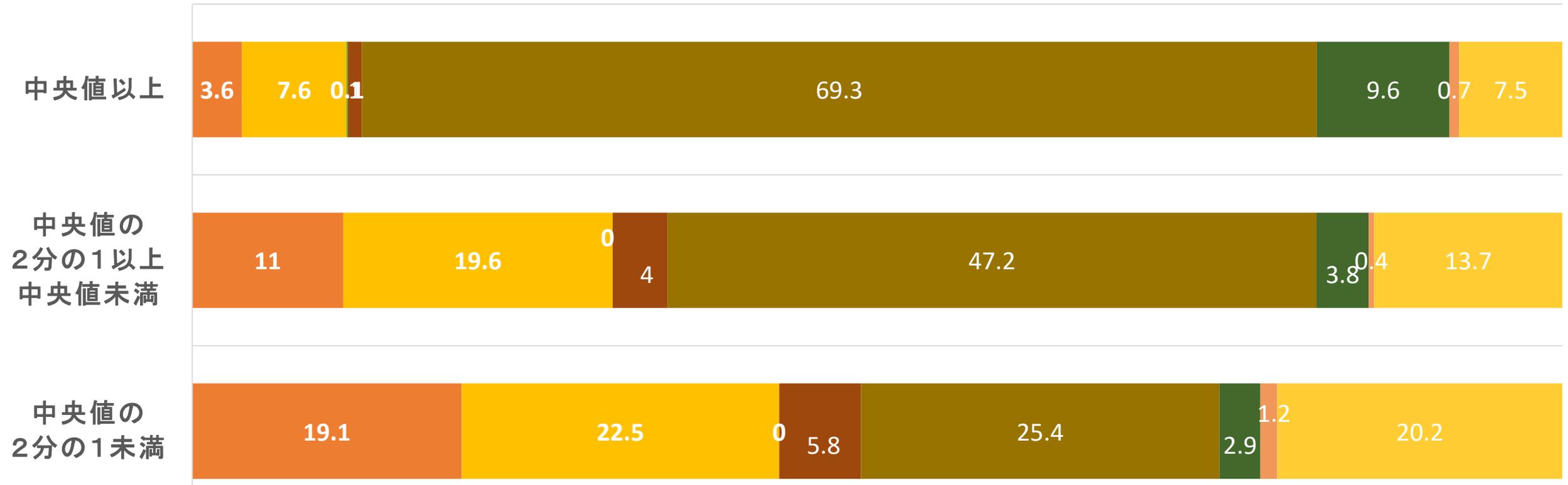


→ ケアラー状況の子どもは、平日の勉強時間がケアラー状況ではない子どもに比べて少なく、その分休日に勉強時間を確保している。

令和5年度 子どもの生活状況調査 結果概要⑪

【進路希望】 Q (保護者へ質問)お子さんは、将来、どの学校に進学すると思いますか

■ 高校まで
 ■ 専門学校
 ■ 5年制の高等専門学校
 ■ 短期大学
 ■ 大学
 ■ 大学院
 ■ その他
 ■ まだわからない (%)

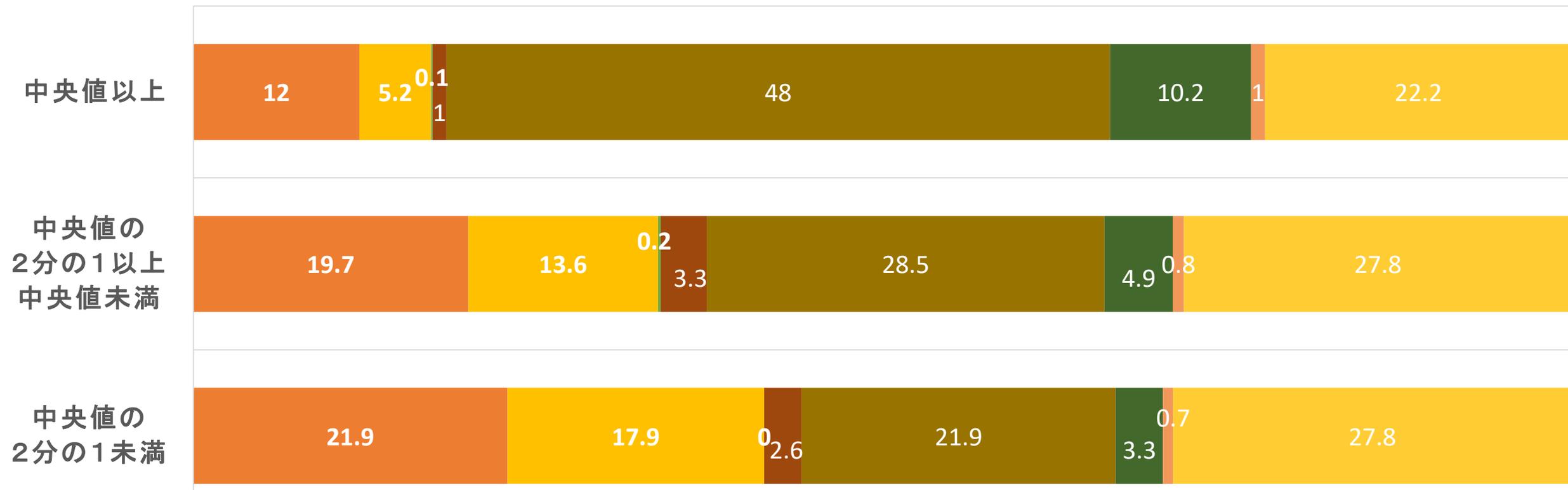


→所得が低いほど「高校」「専門学校」「まだわからない」の割合が多い。

令和5年度 子どもの生活状況調査 結果概要⑫

【進路希望】 Q (中学生へ質問)あなたは、将来、どの学校に進学したいですか

■ 高校まで
 ■ 専門学校
 ■ 5年制の高等専門学校
 ■ 短期大学
 ■ 大学
 ■ 大学院
 ■ その他
 ■ まだわからない (%)



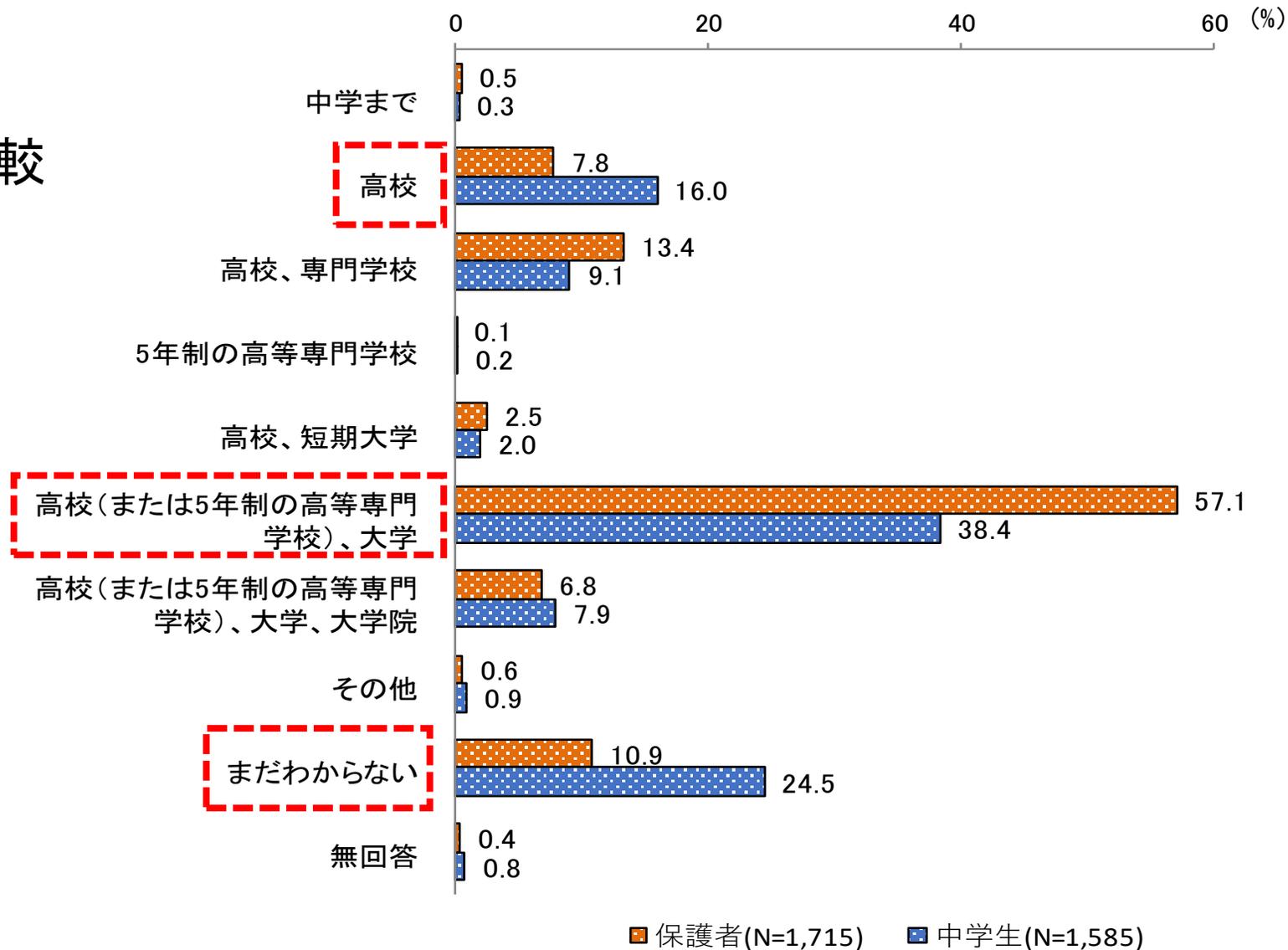
→所得が低いほど「高校」や「まだわからない」の割合が多い。

令和5年度 子どもの生活状況調査 結果概要⑬

【進路希望】

保護者と子どもの考え方の比較

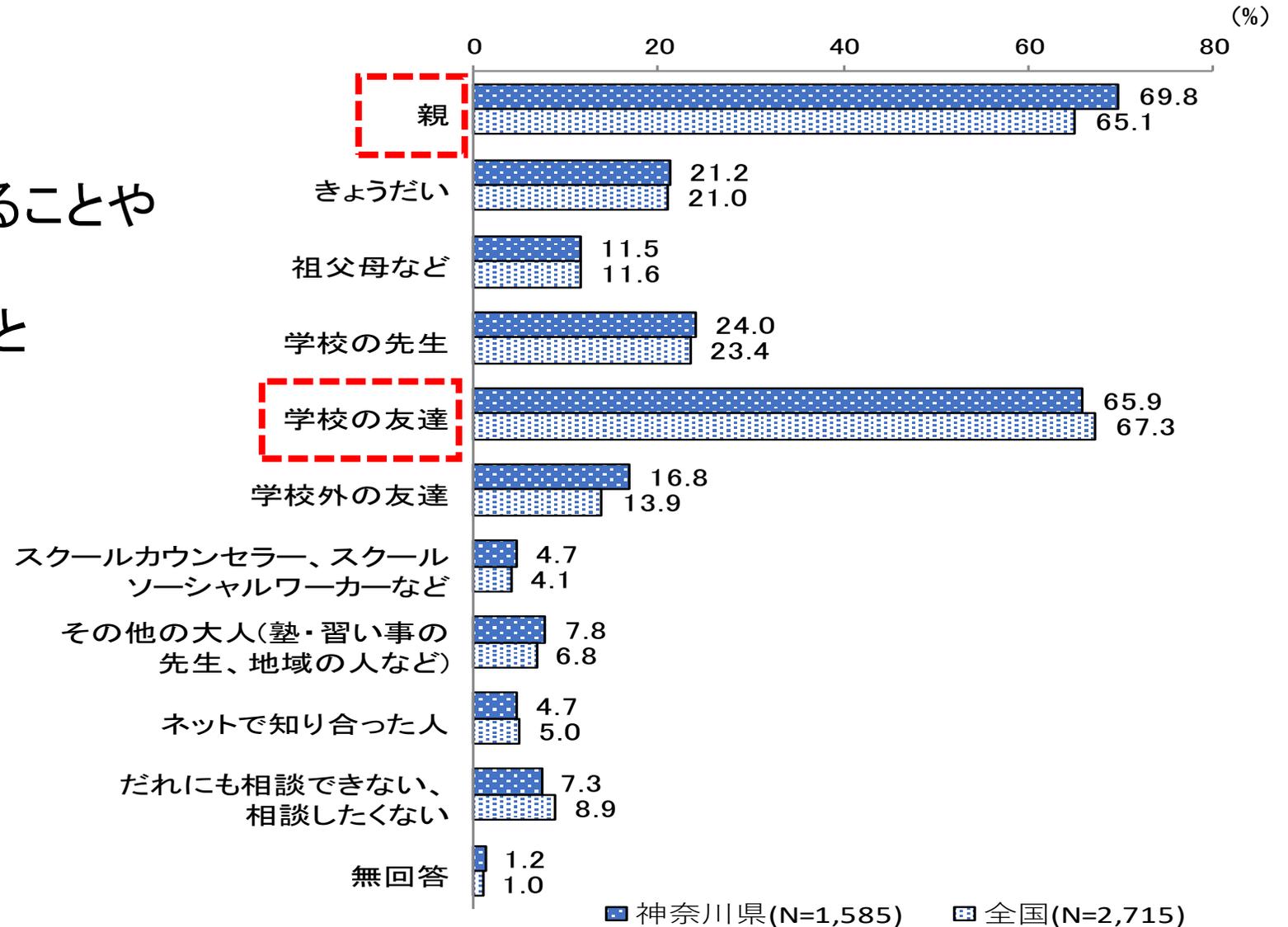
「高校」「まだわからない」は中学生の回答の方が多い



令和5年度 子どもの生活状況調査 結果概要⑭

【子どもが頼れる人】

Q あなたに困っていることや
悩みごとがあるとき、
あなたが相談できると
思う人はだれですか



令和5年度 子どもの生活状況調査 結果概要⑮

【保護者が求める行政支援】

Q あなたやお子さんが困難な状況にあるときに、どのような支援があったらいいと思いますか

保護者は学費についての相談窓口や支援を求めている。



令和5年度 子どもの生活状況調査 結果概要⑬

【子どもが求める行政支援】

Q あなたが困難な状況にあるときに、どのような支援があったらいいと思いますか

子ども(中学2年生)は学費についての相談窓口や支援に加え、**居場所**や**様々な体験の機会**を求めている。

高校や大学・専門学校への進学についてお金のことも含めて相談できる窓口

アルバイトや就職について相談できる窓口

学校や家庭以外での学習支援(無料で勉強を教えてもらえる場所など)

子ども食堂や子ども宅食(子どもがいる家に無料で食べ物が届く仕組み)やフードバンク(寄附された食品を必要とする人に届ける活動)など、食に関する支援

児童館のように学校外で中学生世代が集まったり遊べる居場所

普段は経験できないようなイベントやスポーツ、遊びなどを、無料で体験できる機会

先輩世代の若者たちと様々な活動を体験できる機会

学校にかかるお金の支援(奨学金制度や学校教育にかかる費用の免除・助成)

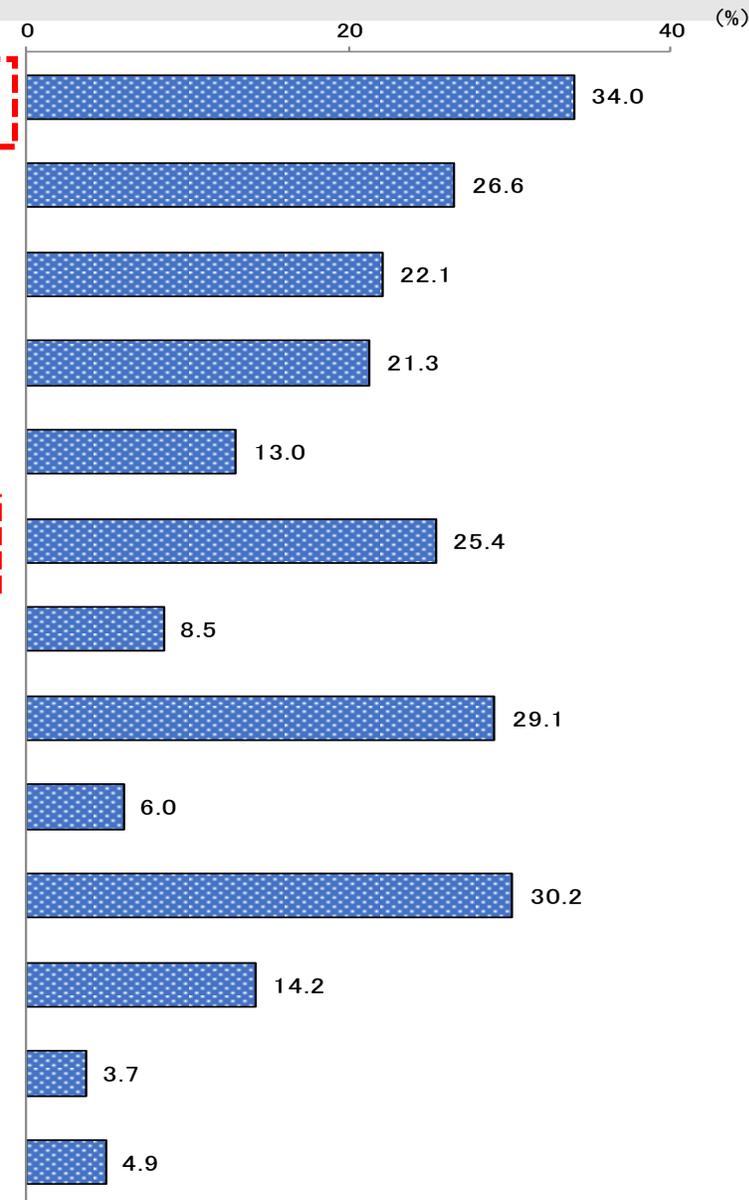
健康や性の相談を含めた相談できる人や場所

学校での放課後などの居場所の提供(放課後に立ち寄れる場所、校内カフェなど)

わからない

その他

無回答



令和6年度 神奈川県子どもの生活状況調査 調査概要

| 項目 | 内容 | |
|-------|--|---|
| 調査の目的 | 県内の子どもの貧困の実態と課題について把握するとともに、県こども計画の策定と施策の検討のための基礎資料とする | |
| 調査対象 | 小学5年生および16・17歳(高校2年生年齢)とその保護者各5,000組 ※県内全域を対象に、層化無作為抽出法により、住民基本台帳から抽出 | |
| 調査期間 | 令和6年7月19日～8月9日 | |
| 調査事項 | 小学生 | 学習及びクラブ活動等の状況、進学希望、生活の状況、支援の利用状況等 |
| | 16・17歳 | 学習及びクラブ活動等の状況、就業状況、進学希望、生活の状況、支援の利用状況等 |
| | 保護者 | 家族の状況、子どもとの関わり方、子どもの進学、生活の状況、世帯の経済状況、支援の利用状況等 |
| 調査方法 | 調査票を対象者に郵送、郵送もしくはオンラインで回答 | |